

## ■ ユダヤ人の議会（サンヘドリン）

イエス様の時代、イスラエルはローマの植民地でしたが、ローマ政府はユダヤ地方の自治議会を許していました。エルサレムのユダヤ地方にはサンヘドリンという自治議会がありました。

サンヘドリン議会は大祭司が議長を務め、パリサイ人やサドカイ人、律法学者、長老のような宗教指導者たちが議員を務めていました。主に宗教に関わる裁判を行い、エルサレムの神殿の治安を維持する働きをしていました。ですが、議会の権限はローマ総督の管理の下にありました。

## ■ メッセージのポイント

### (1) ローマ総督ピラトの苦悩

「イエスを十字架につけろ」という群衆の訴えに対して、ピラトが悩み苦しんだ一つの理由は、祭司長たちと群衆の圧力のせいでした。もう一つの理由は、ピラト自身がイエス様に何の罪も見いだせなかったからです。

### (2) ユダヤ人たちの訴え

ユダヤ人たちは神様から与えられた律法に基づいて、イエス様が神聖冒瀆の罪を犯したと訴えました。しかし、その訴えが却下されると、ローマ皇帝の王権に逆らったとってイエス様を訴えました。